

## 資料 2

## 地方創生関連交付金 活用事業一覧

事業名	交付金の型	事業 開始年度	事業 実施期間	事業 最終年度	KPI 目標年度	検証会議で の検証期間	令和5年度検 証の有無	担当課	備考
祖母山麓エリア再生プロジェクト	推進交付金	R3	3年	R7	R7	R8会議まで	○	商工観光課	
新しい働き方・暮らし方を通じた関係人口創出・企業誘致事業	推進交付金	R3	3年	R5	R5	R6会議まで	○	商工観光課	
ICT人材育成事業（ICTスキル講座の開催と地元事業者とのマッチング）	デジタル田園都市国家構想 推進交付金	R4	1年	R4	R7	R5会議まで	○	総合政策課	
商品開発事業（地元農家や農業普及員と連携した衛星画像を活用した露地野菜等の生育管理システム）	デジタル田園都市国家構想 推進交付金	R4	1年	R4	R7	R5会議まで	○	総合政策課	

# 地方創生交付金関係個別実績表

◆地方創生推進交付金(R3・R4・R5・R6・R7)

No.	1	事業名	祖母山麓エリア再生プロジェクト			所管課	商工観光課	
事業実施期間		着手	令和 3 年 4 月	～	終了	令和 7 年 3 月		
事業の概要(目的)								
<p>地域の背景、および地方版総合戦略を踏まえ、世界的にその希少価値を認められた祖母山麓エリアにおいて、明確なターゲット設定などのエリアマネジメント戦略に基づき、地域資源を活用したアクティビティやワーケーション、山村留学などのコンテンツを開発し、域内住民の地域活動や生業に新たな価値を創出することにより、関係人口の創出・拡大を進め、持続可能な地域づくりのビジネスモデルを構築したい。</p> <p>これにより、祖母山麓エリア内において、本市の総合戦略に掲げた「地域の強みを生かし、域外の力や新たな技術を追い風にし、誇り高く持続可能な社会を築き上げていくこと」を目指す。</p>								
継続または新規事業の別		継続		R4年度実績額(単位:円)		14,984,200円		
本事業における重要業績評価指標(KPI)		目 標 値						
		事業開始前 (基準年:R2年度)	令和3年度増加分 (1年目)	令和4年度増加分 (2年目)	令和5年度増加分 (3年目)	令和6年度増加分 (4年目)	令和7年度増加分 (5年目)	KPI増加分の 累計
KPI①	「祖母山麓体験交流施設あ祖母学舎」の年間利用者数(人)	1,161	50	100	100	50	50	350
KPI②	関係人口創出のためのイベント等への参加者数(人)	0	30	30	30	30	30	150
KPI③	トレッキングガイド養成講座・市民ライター育成講座などの人材育成セミナーへの参加者数(人)	0	10	15	15	10	10	60
KPI④	専用WEBサイトへのアクセス数(アクセス)	0	3,000	5,000	5,000	5,000	2,000	20,000
本事業における重要業績評価指標(KPI)		実 績 値						
KPI①	「祖母山麓体験交流施設あ祖母学舎」の年間利用者数(人)		22	986				1,008
KPI②	関係人口創出のためのイベント等への参加者数(人)		29	29				58
KPI③	トレッキングガイド養成講座・市民ライター育成講座などの人材育成セミナーへの参加者数(人)		29	28				57
KPI④	専用WEBサイトへのアクセス数(アクセス)		4873	19254				24,127
R4年度事業実績の概要 (※交付金事業終了後においては単独での取り組み状況)								
<p>【1. 祖母山麓のエリアブランディング戦略の策定とネットワーク形成・推進】(委託料:1,279,300円)</p> <p>(1) 祖母山麓エリアブランディング戦略に基づく事業運営コーディネート</p> <p>(2) 官民連携の地域ネットワーク形成支援</p> <p>【2. 情報を集約したプラットフォームの構築】(委託料:3,868,700円)</p> <p>(1) 祖母山麓エリア専用WEBサイト等の運用・更新</p> <p>(2) 市民ライター、市民カメラマンなどの情報発信スキルをもつ人材の育成</p> <p>【3. 地域資源を活かした体験アクティビティ、ワーケーションプログラムなどのソフト開発】(委託料:7,868,300円)</p> <p>(1) 祖母山麓エリアのファン(関係人口)づくり</p> <p>(2) トレッキングガイド等養成講座</p> <p>(3) 家族向け滞在プログラム開発</p> <p>【4. 公共施設の新たな活用方法の検討と実施】(委託料:1,967,900円)</p> <p>(1) 祖母山麓エリア公共施設マネジメント支援</p>								
実績値を踏まえた事業の今後について(所管課意見)								
地方創生への効果		①地方創生に非常に効果的であった(すべてのKPIが目標値を達成するなど大いに成果が得られた)						
今後の事業展開方針		①事業の継続(計画どおりに事業を継続する)						
上記の理由や特記事項		<p>KPIは、順調に達成できている。公式WEBサイトの閲覧数の増加などは、祖母山麓エリアに対する期待の表れであると考えられる。今後も引き続き祖母山麓エリアの情報発信を行い、魅力の向上と知名度の上昇に努める。</p> <p>また、本事業により開発したプログラム等を指定管理者が効果的に運用することにより施設の利用者だけではなく、祖母山麓エリア全体への来訪者数の増加にもつながるため、このエリアに来訪する時の観光や体験プログラム等の情報獲得源となる専用WEBサイトの内容も魅力が伝わる情報プラットフォームとなるよう工夫する。</p> <p>そして、令和5年度はコロナも終息に向かっていているため、KPI累積増加分の目標を達成できるようターゲットを絞り、誘客プロモーションに力を入れる。</p>						

# 地方創生交付金関係個別実績表

## ◆地方創生推進交付金(R3・R4・R5)

No.	2	事業名	新しい働き方・暮らし方を通じた関係人口創出・企業誘致事業			所管課	商工観光課	
事業実施期間		着手	令和 3 年 4 月	～	終了	令和 5 年 3 月		
事業の概要(目的)								
<p>1)新しい働き方・暮らし方に沿った関係人口創出事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方への拠点移転やリモートワーク、ワーケーションを検討する企業や人材をターゲットに、本市への進出の相談やサポートを担う総合窓口を設置。各企業・人材へのアプローチやプロモーション、また、進出に際してのワークスペースの紹介や滞在施設の紹介、各種コンテンツ提供に取り組む。</li> <li>・地域事業者向けに、多様な働き方の仕組みづくりの啓発や導入に向けたコーディネートを実施。</li> </ul> <p>2)進出企業や人材とのマッチングによる労働力確保及びイノベーション創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材やノウハウ不足といった課題を抱える地域事業者を募集し、各案件を整理する。また、訪れる企業や人材が有するスキルやノウハウをリスト化し、両者のマッチングを通じ、労働力の確保及びイノベーション創出に取り組む。</li> </ul> <p>3)新しい働き方・暮らし方に沿った観光産業のシフトチェンジ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の豊かな自然や温泉資源を活かし、“健康経営”や“スマートワーク”を掲げる企業向けに、社員の健康増進に係るプログラムを開発・提供。それに特化した人材育成にも取り組む。</li> <li>・リモートワークやワーケーションで訪れる企業や人材の生活消費を促進するための商品やサービスの開発・提供に取り組む。</li> </ul>								
継続または新規事業の別		継続		R4年度実績額(単位:円)		11,965,745円		
本事業における重要業績評価指標(KPI)								
目標値								
		事業開始前 (基準年:R2年度)	令和3年度増加分 (1年目)	令和4年度増加分 (2年目)	令和5年度増加分 (3年目)	令和6年度増加分 (4年目)	令和7年度増加分 (5年目)	KPI増加分の 累計
KPI①	リモートワークやワーケーションで訪れる人の数(人)	0	50	100	200	300	300	950
KPI②	進出企業・団体等の数(件)	0	1	2	3	3	3	12
KPI③	進出企業及び人材と地域事業者とのマッチングによるプロジェクト創出数(件)	0	1	2	3	5	5	16
KPI④								0
本事業における重要業績評価指標(KPI)								
実績値								
KPI①	リモートワークやワーケーションで訪れる人の数(人)		237	620				857
KPI②	進出企業・団体等の数(件)		3	0				3
KPI③	進出企業及び人材と地域事業者とのマッチングによるプロジェクト創出数(件)		2	2				4
KPI④								0
R4年度事業実績の概要 (※交付金事業終了後においては単独での取り組み状況)								
<p>【1. 新しい働き方・暮らし方に沿った関係人口創出事業】</p> <p>(1)地域事業者向け多様な仕事づくり支援(委託料:1,992,375円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>↳フレックスタイムやテレワークといった多様な働き方の導入を検討する地域事業者のコーディネート</li> </ul> <p>【2. 進出企業や人材とのマッチングによるイノベーション・ソリューション創出】</p> <p>(1)進出企業・人材と地域事業者とのマッチング(委託料:1,986,600円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>↳地域事業者の課題整理、進出企業・人材の有するスキルのリスト化により両者のマッチングを図る</li> </ul> <p>【3. 新しい働き方・暮らし方に沿った観光産業のシフトチェンジ】</p> <p>(1)企業向け専門インストラクター養成(委託料:5,987,520円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>↳温泉利用指導者や健康運動指導士といった専門のインストラクターを契約企業向けに養成し、各種プログラムの提供を行う</li> </ul> <p>(2)企業・人材向けプロモーション(委託料:1,999,250円)</p>								
実績値を踏まえた事業の今後について(所管課意見)								
地方創生への効果	②地方創生に相当程度効果があった(一部のKPIが目標値に達しなかったものの、おおむね成果が得られたとみなせる)							
今後の事業展開方針	①事業の継続(計画どおりに事業を継続する)							
上記の理由や特記事項	<p>新型コロナウイルスの影響によるKPI未達成の懸念もあったが、設定した指標に基づいて達成した。プラットフォームが構築されたことにより、関係人口の増加につながり、新たな人の流れが生み出されている。</p> <p>ただし、一部のKPIが未達成であったことから、アフターコロナに向けて、テレワーカーや進出希望事業者の受け入れの準備をしっかりと行い、ターゲットに対する情報発信を続け、効果的なアプローチ手法を再検討していく。</p>							

# 地方創生交付金関係個別実績表

## ◆デジタル田園都市国家構想推進交付金(R4)

No.	3	事業名	ICT人材育成事業 (ICTスキル講座の開催と地元事業者とのマッチング)				所管課	総合政策課
事業実施期間		着手	令和 4 年 4 月	～	終了	令和 5 年 3 月		
<b>事業の概要(目的)</b>								
<p>竹田市は、少子高齢化の影響により年間約500人の人口減少が続き、高齢化率も48%に達している。各産業において人材不足は深刻で歯止めがかからない状況である。高速道路網の整備の遅れから大規模な製造業の進出もなく、雇用の場の確保が課題である。特に18歳から40歳代の女性の転出超過があり、この層に着目し特化した雇用の場の確保の取り組みが必要である。</p> <p>今般、地方創生テレワーク交付金を活用し地域課題解決に積極的にかかわりを持つ企業のサテライトオフィス誘致を推進しているところであるが、一方でサテライトオフィス等での人材確保が大きな課題となってきた。進出企業をはじめ地元企業が必要とする人材確保には、待つだけではなく積極的に人材育成に取り組む必要がある。</p> <p>ターゲットを①女性を中心に若年層、②市内高校生、③県内大学との連携、④地元企業や事業者とし、ICTスキル講座の開催する。NoCodeセミナーを中心に講座を開催し、商店街向けホームページやアプリの作成に取り組む。その成果を地元企業や事業者にプレゼンし、商工業分野のDXの普及の足掛かりとしたい。</p> <p>今回、NoCodeの活用により、竹田市でもICTを活用した仕事を展開できることを目指すとともに、人材育成とその後のネットワークを構築する。地元企業や事業者に対し仕事の地産地消を促し、仕事のマッチングにつなげる。こうした取り組みにより若者と商店街を結ぶコンテンツ作りを進めることで、働き方の提案と地域の活性化を目指す。</p>								
継続または新規事業の別		新規		R4年度実績額(単位:円)		6,872,754円		
<b>目標値</b>								
本事業における重要業績評価指標(KPI)		事業開始前 (基準年:R3年度)	令和4年度増加分 (1年目)	令和5年度増加分 (2年目)	令和6年度増加分 (3年目)	令和7年度増加分 (4年目)	KPI増加分の 累計	
		KPI① NoCodeを活用したICTスキル講座への参加者数	0	20				
	KPI② NoCodeセミナーを受講した方が地元の事業者へ提案した数	0	5					
	KPI③ 地元企業や事業者(進出企業・他地域を含む)からの仕事発生件数	0	0	10	15	20		
	KPI④ 地元企業や商店者とのマッチングをきっかけに、地元企業にICT人材として雇用された人数	0	0	3	4	5		
<b>実績値</b>								
	KPI① NoCodeを活用したICTスキル講座への参加者数		57				57	
	KPI② NoCodeセミナーを受講した方が地元の事業者へ提案した数		9				9	
	KPI③ 地元企業や事業者(進出企業・他地域を含む)からの仕事発生件数		1				1	
	KPI④ 地元企業や商店者とのマッチングをきっかけに、地元企業にICT人材として雇用された人数		0				0	
<b>R4年度事業実績の概要</b> (※交付金事業終了後においては単独での取り組み状況)								
<p>子育て女性や高校生がNoCodeツールの使い方を学び、地域内で活躍できるIT人材の育成を図った。</p> <p>①NoCodeツール勉強会 ママさん向けNocodeセミナー13名 ママさん向けSTUDIO講座6名 一般向けSTUDIO講座5名 一般向けBubble講座1名 高校生向けNocodeセミナー5名 高校生向けSTUDIO体験会10名</p> <p>②受講者と商店街・地元事業者のマッチング ママさん向け2件 一般向け4件 高校生向け3件</p> <p>講座受講者が利用登録できる「TAKETA Nocode School」を開設。対面講座だけでなく動画アーカイブで講座を受講できるようにした。</p> <p>ママ向け、一般向けは数回講座を実施。スキルの基本を学んだあと、実際に事業者向けHPやLPを制作し、企業、事業者に活用提案を行った。</p> <p>高校生向けは、授業や部活の都合により長期間の受講が困難であること、導入部分であるHPは高校生に馴染まないことが分かり、講座の構成を見直し、数時間の体験型講座を開催した。地域創生を意識し、市内商店街や地域事業者を周り、域内のデジタル課題のヒアリングを行った。</p> <p>事象実施主体である企業は、商店街や事象者のIT化・DX化を進めるためヒアリングを行い課題を抽出した。NoCodeツールを活用した課題解決について検証を行い、次年度以降の講座の進め方や地域内に不足するIT人材の内製化について検討した。</p>								
<b>実績値を踏まえた事業の今後について(所管課意見)</b>								
地方創生への効果	①地方創生に非常に効果的であった(すべてのKPIが目標値を達成するなど大いに成果が得られた)							
今後の事業展開方針	②事業の発展(事業が効果的であったことから取組の追加等さらに発展させる)							
上記の理由や特記事項	<p>竹田市において若い世代、特に20～40代の女性をターゲットに新たな仕事、雇用の場の確保が課題であり、テレワークや副業など多様な働き方を推進する上ではITスキルは必須である。</p> <p>サテライトオフィスにIT人材育成ができる企業が入ったことにより、多様な働き方をしたい人だけでなく、商店街や商工事業者等にもIT化、DX化の啓発ができた。</p> <p>今後も地域事業者がDX化等仕事の効率化を進める上で、IT人材を育成することが必要となる。</p>							

# 地方創生交付金関係個別実績表

## ◆デジタル田園都市国家構想推進交付金(R4)

No.	4	事業名	商品開発事業(地元農家や農業普及員と連携した衛星画像を活用した露地野菜等の生育管理システム)			所管課	総合政策課
事業実施期間		着手	令和 4 年 4 月	～	終了	令和 5 年 3 月	
<b>事業の概要(目的)</b>							
<p>竹田市は大分県の南西部に位置し、熊本県、宮崎県と隣接している中山間地域である。基幹産業は農林業であり大分県下では農業生産額はトップである。米、高冷地野菜、畜産(繁殖牛)、特産のカボス、シイタケなどが盛んな地域である。</p> <p>昔ながらの大量作付けにより収穫時の負荷が過剰となり一定の廃棄量がある状況。まさに時代に逆行し限界が見える。持続可能な農業への転換が必要である。農業を産業構造から変えていく必要があり、経験だけでなくデータ活用型農業(スマート農業)への転換が求められている。また、農業の後継者や担い手不足など深刻な農林業の課題に対し、データ活用型農業への転換といった手法により課題解決の糸口としていきたい。</p> <p>今プロジェクトは、衛星画像を使用した農作物の生育評価システムの構築であり、対象年度については、地元農業者との連携による実証実験を計画している。また、農業普及員や農協の指導員、市農政課の職員など普及的立場のスタッフによる実証評価も予定している。</p> <p>本システムは、衛星画像を活用する点と生育状況を植生指数で確認していくというもので、生産者や普及員はシステムを活用することで圃場まで赴かずに生育状況を把握できる。生育不良など異常が発生した場合アラートで知らせるもの。将来的に大規模耕作農家や遠距離に耕作地を持つ農家のほか、エリアでの生育状況の把握に役立てる。</p>							
継続または新規事業の別		新規		R4年度実績額(単位:円)		20,753,283円	
本事業における重要業績評価指標(KPI)		目標値					
		事業開始前 (基準年: R3年度)	令和4年度増加分 (1年目)	令和5年度増加分 (2年目)	令和6年度増加分 (3年目)	令和7年度増加分 (4年目)	KPI増加分の 累計
KPI①	GrowthWatcherの利用農家数	0	2				
KPI②	GrowthWatcherによる生育管理対象の品目数	0	12				
KPI③	GrowthWatcherの指導機関による利用数	0	2				
KPI④	GrowthWatcherを導入した農家の管理コストの削減率	0	0	10	15	20	
KPI⑤	GrowthWatcherを導入後1農家あたりが管理する品目数	0	0	6	8	10	
KPI⑥	自治体の農業普及員の指導記録レポート数	0	0	50	75	100	
本事業における重要業績評価指標(KPI)		実績値					
KPI①	GrowthWatcherの利用農家数		2				2
KPI②	GrowthWatcherによる生育管理対象の品目数		12				12
KPI③	GrowthWatcherの指導機関による利用数		2				2
KPI④	GrowthWatcherを導入した農家の管理コストの削減率		0				0
KPI⑤	GrowthWatcherを導入後1農家あたりが管理する品目数		0				0
KPI⑥	自治体の農業普及員の指導記録レポート数		0				0
<b>R4年度事業実績の概要</b>							
(※交付金事業終了後においては単独での取り組み状況)							
<p>●地元農業者2軒にベースとなるデータ入力とシステムを活用してもらい、農家向け「GrowthWatcher for farmers」を開発した。野菜12品目について生育評価ができることが実証できた。2022年9月にはプレスリリースし、スマート農業展示会等で事業者者に提案をした。GrowthWatcherの利用促進のためには、適応品目を増やす必要があることから、実証事業に協力いただける農業者をJAおおいから紹介してもらい、次年度以降につなげた。また、果樹類に拡大させることも検討。豊肥振興局と協議しながら、市外農業者の協力も得て検証を実施した。</p> <p>●指導員向けのシステム「GrowthWatcher for masters」の開発に8月から取り組んだ。JAおおいや豊肥振興局の農業普及員の業務をヒアリングしながら開発をすすめ、2023年1月31日に完成した。その後、実際の導入に向け、農業普及員を含め振興局と協議を実施したが、まだ実稼働には課題が残ることから、協力機関を増やし次年度以降も検証を行う。</p> <p>GrowthWatcher for mastersに付与する自動検出機能の精度検証については市農政課の協力により実施。高精度の解析方法を見極めることが出来た。次年度から高解像度の衛星画像を用いた解析を進める予定。</p>							
<b>実績値を踏まえた事業の今後について(所管課意見)</b>							
地方創生への効果		①地方創生に非常に効果的であった(すべてのKPIが目標値を達成するなど大いに成果が得られた)					
今後の事業展開方針		②事業の発展(事業が効果的であったことから取組の追加等さらに発展させる)					
上記の理由や特記事項		<p>開発中のシステムの実証フィールドの提供により、ベンチャー企業のスマート農業システム開発に寄与し、竹田市の若手農業者、農家担い手に対しては、多額の投資で取組みにくい衛星画像を活用した農業のIT化を検討する機会となった。令和4年度は開発に注力したため、R5から実利用によりさらに検証を行う。</p> <p>IT関連企業のサテライトオフィス進出を転機とし、デジタル化により効率的な農業経営を行う農業DXを今後も推進し検証していく。</p>					